

令和5年度 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム
(YOKOHAMA MDA プログラム) リテラシーレベル」 自己点検・評価報告書

令和6年4月23日
教育推進機構全学教育部会

[1] 授業方法

令和5年度は、6コマの授業を行った。教材は、本学が令和4年度中に本学独自に作成した教材を使用した。

	対面 / オンデマンド	レギュラー / 集中
春学期セメスター -1	対面	レギュラー
春学期セメスター -2	対面	レギュラー
第3ターム	オンデマンド	集中
秋学期セメスター -1	対面	レギュラー
秋学期セメスター -2	対面	レギュラー
第6ターム	オンデマンド	集中

[3] 履修状況

令和5年度の履修状況は、以下の表のとおりである。履修者総数は372名であり、授業形態別の履修者数は、対面授業が184人、オンデマンドが188人でほぼ同数である。学年別では、1年生が249名で全体の約67%を占める。部局別では、理工学部が298名で全体の約80%を占める。

<授業別履修状況>

	1年	2年	3年	4年	合計
春学期セメスター -1	74	11	6	4	95
春学期セメスター -2	37	2	0	1	40
第3ターム	59	36	22	5	122
秋学期セメスター -1	7	0	4	2	13
秋学期セメスター -2	31	3	1	1	36
第6ターム	41	17	6	2	66
合計	249	69	39	15	372

<部局別履修状況の詳細>

学部		1年	2年	3年	4年	合計
教育学部 (1名)	春学期 セメスター-1	0	0	0	0	0
	春学期 セメスター-2	0	0	0	0	0
	第3ターム集中	1	0	0	0	1
	秋学期 セメスター-1	0	0	0	0	0
	秋学期 セメスター-2	0	0	0	0	0
	第6ターム集中	0	0	0	0	0
	合計	1	0	0	0	1
経済学部 (14名)	春学期 セメスター-1	1	1	1	0	3
	春学期 セメスター-2	3	0	0	0	3
	第3ターム集中	0	1	2	0	3
	秋学期 セメスター-1	0	0	1	1	2
	秋学期 セメスター-2	0	0	1	0	1
	第6ターム集中	1	0	1	0	2
	合計	5	2	6	1	14
経営学部 (11名)	春学期 セメスター-1	2	0	1	0	3
	春学期 セメスター-2	0	0	0	0	0
	第3ターム集中	0	1	0	0	1
	秋学期 セメスター-1	0	0	0	0	0
	秋学期 セメスター-2	2	0	0	0	2
	第6ターム集中	3	1	1	0	5
	合計	7	2	2	0	11
理工学部 (298名)	春学期 セメスター-1	70	9	4	4	87
	春学期 セメスター-2	34	2	0	1	37
	第3ターム集中	36	32	15	3	86
	秋学期 セメスター-1	4	0	3	1	8
	秋学期 セメスター-2	27	3	0	1	31
	第6ターム集中	29	16	3	1	49
	合計	200	62	25	11	298
都市科学部 (48名)	春学期 セメスター-1	1	1	0	0	2
	春学期 セメスター-2	0	0	0	0	0
	第3ターム集中	22	2	5	2	31
	秋学期 セメスター-1	3	0	0	0	3
	秋学期 セメスター-2	2	0	0	0	2
	第6ターム集中	8	0	1	1	10
	合計	36	3	6	3	48

[4] 単位修得状況

令和5年度の単位取得状況は、下表のとおりである。単位習得率は良好であり、高い学修成果が得られていると評価できる。

	秀	優	良	可	不可	合計	単位習得率
合計	13	231	60	33	36	372	90 %

(個々の授業科目の成績分布は、学内資料にのみ掲載)

[5] 学生による授業アンケート

授業のアンケート結果は以下のとおりである。アンケートへの回答は任意であるため全員が回答しているわけでないため、回答率は6コマの授業ごとに異なるが、回答内容を見る限り、全体的には、対象学問領域への関心も高く、授業内容を理解でき、授業の満足度も高いという結果が得られているので、アンケートに回答した学生に関しては、高い学修成果が得られていることが伺える。

また、アンケート回答者の大部分が「オンデマンドであっても受講した」と回答しており、必ずしも対面に拘っているようではないこともわかった。なお、第3集中と第6集中は、アンケート自体を実施していない。

(個々の授業科目の集計結果は、学内資料にのみ掲載)

[6] 令和6年度に向けての計画

[1] MDA 入門の授業6コマ全ての開講責任部局を理工学部とする。

[2] 令和6年度以降は、教育推進機構の情報教育推進部門が主体となって推進する。情報戦略推進機構としては、情報教育推進部門の会議体である情報教育推進部会を通じて、MDA教育の企画や改善に協力していくこととする。

以上